

平成 26 年度  
当初予算案の主要事業

平成 26 年 2 月  
浜 松 市



## 目 次

1	市制記念式典開催事業	秘書課、文化財課	1
2	シティプロモーション事業	広聴広報課	2
3	浜松市総合計画推進事業	企画課	3
4	徳川家康公顕彰400年記念事業	企画課	4
5	創造都市推進事業	企画課	5
6	みんなのはままつ創造プロジェクト事業	企画課	6
7	子どもの才能を伸ばす課外講座開催事業	企画課、指導課	7
8	まちなかアート整備事業	企画課	8
9	外国人学習支援センター運営事業	国際課	9
10	UCLGASPAC執行理事会浜松開催事業	国際課	10
11	社会保障等制度改正対応事業	情報政策課	11
12	施設解体事業	資産経営課	12
13	市民協働推進事業	市民協働・地域政策課	13
14	二俣協働センター・天竜図書館改修事業	市民協働・地域政策課	14
15	地区コミュニティ振興モデル事業	市民協働・地域政策課	15
16	交流・居住促進事業	市民協働・地域政策課	16
17	中山間地域生活支援事業	市民協働・地域政策課	17
18	中山間地域まちづくり事業	市民協働・地域政策課	18
19	再生可能エネルギー等導入推進基金事業	新エネルギー推進事業本部	20
20	新エネルギー推進事業	新エネルギー推進事業本部	21
21	音楽文化都市交流事業	文化政策課	22
22	(仮称) 浜北スポーツセンター整備事業	スポーツ振興課	23
23	北部地域図書館建設事業	中央図書館	24
24	地域福祉計画リーディングプロジェクト推進事業	福祉総務課	25
25	災害時要援護者支援システム導入事業	福祉総務課、障害保健福祉課、 介護保険課	26
26	生活困窮者自立促進支援モデル事業	福祉総務課	28
27	老人福祉施設整備費助成事業(補助金)	高齢者福祉課	29
28	子ども・子育て支援事業計画策定等事業	次世代育成課	30
29	放課後児童会事業	次世代育成課	31

30	私立幼稚園就園奨励助成事業	次世代育成課	33
31	いじめ防止対策	指導課、次世代育成課	34
32	社会的養護体制整備事業	子育て支援課	36
33	発達障害者支援センター運営事業	子育て支援課	37
34	子どもに対する医療費助成事業	子育て支援課	38
35	市立保育所施設整備事業	保育課	39
36	保育所待機児童の解消	保育課、次世代育成課	40
37	認証保育所利用者助成事業（補助金）	保育課	42
38	民間保育所施設整備助成事業（補助金）	保育課	43
39	ノロウイルス対策	保健給食課、教職員課、 保育課 ほか	44
40	ひきこもり対策推進事業	精神保健福祉センター	45
41	不妊治療費助成事業	健康増進課	46
42	子宮頸がん、乳がん検診無料クーポン再配布 （健康診査事業）	健康増進課	47
43	新清掃工場整備事業	廃棄物処理施設管理課	48
44	ごみ減量・リサイクル推進事業	資源廃棄物政策課	49
45	省エネルギー改修推進事業	環境政策課	50
46	不法投棄対策事業	産業廃棄物対策課	51
47	求職者就労支援事業	産業総務課	52
48	海外販路開拓事業	農林水産政策課	53
49	農業振興エリア整備事業	農林水産政策課	54
50	新規就農者育成支援事業	農林業振興課	56
51	人・農地プラン推進事業	農林業振興課	57
52	耕作放棄地対策事業	農林業振興課	58
53	天竜材の家百年住居る助成事業	農林業振興課	59
54	林業専用道整備事業	農林業振興課	60
55	新・産業集積エリア整備事業	産業総務課、産業振興課	61
56	海外ビジネス展開支援事業	産業振興課	62
57	バイクのふるさと浜松開催支援事業	産業振興課	64
58	インバウンド推進事業	観光交流課	65
59	インバウンド人材研修交流事業	観光交流課	66
60	道路等補修箇所連携アプリ整備事業	土木総務課	67
61	公共建築物長寿命化推進事業	資産経営課、公共建築課	68

62	吊り天井等の落下防止対策	公共建築課、学校施設課 市立高校	69
63	橋りょう・トンネル安全対策	道路課	70
64	原田橋整備事業	道路課	71
65	外国人観光客誘致事業	道路課	72
66	スマートインターチェンジ関連整備事業	道路課	73
67	都市計画マスタープラン見直し事業	都市計画課	74
68	開発許可運用基準関連基礎調査事業	土地政策課	75
69	浜松駅周辺改良事業（総合交通計画推進事業）	交通政策課	76
70	鉄道駅バリアフリー化設備整備費助成事業（補助金）	交通政策課	77
71	都市機能更新促進事業	市街地整備課	78
72	天竜川駅周辺整備事業	道路課	79
73	花博記念事業（浜名湖花博2014）	緑政課	80
74	都市計画公園見直し事業	緑政課	81
75	浜松城公園整備事業	公園課	82
76	動物愛護推進事業	動物園	83
77	動物園再生計画策定事業	動物園	84
78	市営住宅集約建替事業	住宅課	85
79	消防・救急無線デジタル化事業	情報指令課	86
80	区版避難行動計画	危機管理課	87
81	津波対策事業	危機管理課	89
82	地域防災無線整備事業	危機管理課	90
83	防災施設・資機材維持管理事業	危機管理課	92
84	中山間地域校外学習支援事業	教育総務課	93
85	教育センター移転事業	教育センター	94
86	全国学力・学習状況調査関連事業「学力向上やらまいかプラン」	指導課	95
87	生徒指導事業	指導課	96
88	教育指導支援員等配置事業一覧	指導課、教職員課	97
89	小学校教諭英語指導力向上事業	教職員課	98
90	発達指導支援員等配置事業	教職員課	99
91	学校建設事業一覧	学校施設課	100
92	公立幼稚園における預かり保育	教育総務課、教職員課	101
93	ロコモーショントレーニング事業（介護保険事業特別会計）	高齢者福祉課	102
94	ささえあいポイント事業（介護保険事業特別会計）	介護保険課	103



# 市制記念式典開催事業

企画調整部秘書課  
市民部文化財課

## 1 目的

7月1日の市制記念日において市域の一体感醸成を図るため、市制記念式典を開催する。

## 2 背景

平成23年度の市政施行100周年記念式を契機に節目開催とし、平成24・25年度は、開催を見送っていたが、市制記念日のあり方について、区協議会などの意見を伺い、継続的に検討を進めてきた。平成26年度以降は、毎年式典を開催する予定。

## 3 事業内容

名称	浜松市市制施行103周年記念式
開催日	平成26年7月1日（火）15:00～
会場	アクトシティ浜松
事業内容	第1部 市勢功労者表彰式 第2部 伝統芸能公演

## 4 事業費 5,469千円

報償費	1,171千円	市勢功労者記念品など
委託料	2,030千円	式典運営等業務委託
使用料及び賃借料	1,381千円	会場使用料
その他経費	887千円	

# シティプロモーション事業

企画調整部広聴広報課

## 1 目的

戦略的にメディアやツールを活用することにより都市の知名度やイメージ向上を図り、国内外から支持される都市ブランドの確立や魅力アップへつなげる。

## 2 背景

平成 25 年度は、「出世大家康くん」のゆるキャラグランプリ優勝を最優先課題としたメディア戦略を展開し、準グランプリという成績を残し、「浜松市」を国内外へ広く発信した。平成 26 年度は、全国的な認知度と市民の親近感が高まった「家康くん」を推進役として「出世の街 浜松」の P R に重点をおいたシティプロモーションを実施するとともに、平成 27 年に迎える家康公顕彰 400 年記念事業と連動し、一層の盛り上げを図る。

## 3 事業内容

- ・ 戦略的メディアリレーション  
全国的なメディア展開により「ものづくり」「食」「観光」「音楽」「文化」など本市の魅力を発信
- ・ 「出世の街浜松」全国プロモーション  
「出世」の意味合いを明確化し、家康くんを推進役とした「浜松」＝「出世の街」の認知度の向上を図る。
- ・ 情報誌制作（HAMA流 110,000 部）
- ・ （臨時）経済効果算定  
ゆるキャラグランプリ 2013 の結果等を踏まえた経済効果の算定
- ・ 家康公顕彰 400 周年関係  
「家康公検定」の実施により官民協働で家康公と浜松の関わりを発信

## 4 事業費 74,939 千円

旅費	1,474 千円
需用費	5,399 千円
役務費	6,066 千円
委託料	59,229 千円
その他	2,771 千円



# 浜松市総合計画推進事業

企画調整部企画課

## 1 目的

未来デザイン会議での議論を行い、平成 27 年度からの新・総合計画（浜松市未来ビジョン）を策定する。

## 2 背景

- ・第 2 次浜松市総合計画の計画期間は、平成 27 年 3 月まで。
- ・平成 25 年 9 月に新・総合計画の検討組織として未来デザイン会議立ち上げた。
- ・中長期的な視野を持って将来を見通し、責任が持てる「いま」を創造することを策定方針とした。

## 3 事業内容

### (1) 新・総合計画の体系

基本構想：30 年後の未来を創造（=30 年）

基本計画：30 年後の未来の理想のすがたに向けた 10 年の計画（=10 年）

戦略計画：単年度ごとの実施計画（=1 年）

### (2) 未来デザイン会議

座 長：浜松市長

コーディネーター兼委員：静岡文化芸術大学 根本敏行 文化政策学部長

委 員：企業や民間団体、大学等、各分野の専門家及び公募市民（=21 名）

### (3) スケジュール

H25 年 9 月 未来デザイン会議設置

H26 年 9 月 パブリックコメントの実施

H26 年 11 月 市議会提案

H27 年 3 月 新・総合計画冊子作成

H27 年 4 月 新・総合計画スタート

## 4 事業費 9,071 千円

謝礼	702 千円	未来デザイン会議（意見交換会含む）
印刷製本費	4,627 千円	新・総合計画冊子作成（DVD 800 部） HTML データ作成により HP 掲載 など
旅費	1,153 千円	政策形成調査研究事業 など
その他	2,589 千円	第 2 次総合計画推進経費 など

# 徳川家康公顕彰 400 年記念事業

企画調整部企画課

## 1 目的

徳川家康公薨去 400 年を機に、ゆかりの地である 3 都市（浜松市、静岡市、岡崎市）と静岡県が連携し、家康公に関連するイベントの開催や観光名所のプロモーションなどを行うことで、地域活性化を図る。

事業期間：平成 27 年 1 月 1 日から 12 月 31 日

## 2 事業内容・事業費

### （1）推進方針

- ① 出世ストーリーを中心とした浜松らしい事業を展開し、他都市と差別化を図る。
- ② 出世ストーリーを象徴する文化資源・観光資源を発掘・創出する。
- ③ 民主体のアイデアを活用し、オール浜松の官民協働で事業を推進する。

### （2）事業費 26,500 千円

平成 26 年度前半は、プレ事業を実施し、平成 27 年 1 月 1 日から記念事業をスタートする。

ア 市主体事業 300 千円（賃金、需用費）

- ・ 家康公関連遺跡一部発掘調査業務

イ 官民協働事業 26,200 千円（負担金）

- ・ 家康公立体しかみ像製作
- ・ 三方原合戦ジオラマ製作 など

## 3 今後迎える家康公関連の節目

平成 27 年 家康公薨去 400 年

平成 32 年 家康公浜松城入城 450 年

平成 34 年 三方原合戦 450 年

# 創造都市推進事業

企画調整部企画課

## 1 目的

ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟により、浜松の音楽文化を世界に発信するとともに、他都市との連携や交流を図り、「創造都市・浜松」の推進を図る。

## 2 背景

- ・平成23年3月ユネスコに加盟申請書を提出
- ・平成23年12月ユネスコの財政事情により審査手続が中断
- ・平成25年7月審査再開の連絡があり、改めて加盟に向けた取組みを実施
- ・結果公表は平成26年11月

## 3 事業内容

### (1) 他都市との連携

- ・ユネスコ創造都市ネットワーク年次総会参加
- ・国内創造都市ネットワーク会議参加
- ・ユネスコ創造都市ネットワーク加盟都市負担金など

### (2) ユネスコ加盟に伴う経費

- ・ユネスコ登録ロゴデザイン、音楽創造都市PR媒体の作成
- ・ユネスコ報告書作成

### (3) 「創造都市・浜松」の推進

- ・「創造都市・浜松」推進会議（仮称）への負担金
- ・音楽創造都市のPR

## 4 事業費 10,302 千円

委託料	2,110 千円
負担金	3,900 千円
その他経費	4,292 千円

## 5 今後実施予定事業

- ・音楽を通じた文化的多様性に関する国際会議の開催
- ・（仮称）「世界民族音楽の祭典 in 浜松」の開催

# みんなのはままつ創造プロジェクト事業

企画調整部企画課

## 1 目的

第2次浜松市総合計画に掲げた都市の将来像「市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』」の実現に向けて、市民活動団体や民間企業等が主体的に企画・実施する創造的・独創的な取り組みに対し、スタートアップの資金を助成する。

## 2 背景

創造都市の実現に向けては、創造的活動の担い手となる人材（団体）の育成が不可欠である。平成24年度から実施している当事業を通じて、業種・分野を越えた人材の掘り起こしやネットワークの構築が進むなど成果が表れ始めている。

## 3 事業内容

創造都市実現を目的とした民間企業や市民活動団体の主体的な活動に対する助成。

- ・ 上限 : 1,000 千円（補助率 10/10）
- ・ 補助金 : 50,000 千円
- ・ 実績 : H24 32,372 千円 応募件数 86 事業、採択件数 37 事業  
H25 36,677 千円（見込）応募件数 109 事業、採択件数 39 事業
- ・ 採択事業例 : H24 「Tsai & Yoshikawa ×パイフォトニクス屋外作品展示」  
「はままつアートバトル」  
「みんなの居場所 -ミーティングデザイナー-」 など  
H25 「デザイナー・オープンリソースプロジェクト」  
「Creative Milieu 創造的環境創出に向けた地下空間利活用事業」  
「ベッドサイドの環境デザインプロジェクト」 など

## 4 事業費 50,526 千円

報償費	150 千円	みんなのはままつ創造プロジェクト審査委員会謝礼
需用費	305 千円	事業紹介チラシの作成
役務費	31 千円	連絡用郵便料
使用料	40 千円	キックオフミーティング及び事業実施報告会会場借上料
補助金	50,000 千円	みんなのはままつ創造プロジェクト補助金

# 子どもの才能を伸ばす課外講座開催事業

企画調整部企画課  
学校教育部指導課

## 1 目的

浜松の将来を担う人材を育成するため、理数、外国語、音楽、美術などのさまざまな分野において産学官が連携しながら子どもの才能を伸ばす課外授業を実施する。

## 2 事業内容・事業費

### (1) 子どもの才能を伸ばす課外講座開催事業 8,500 千円

#### ア 「浜松 I T キッズプロジェクト」 8,000 千円（負担金）

講座内容 プログラミング、ロボットの組立、ITに関する英語・算数・理科

対 象 3 期生（3 年生 定員 24 名） 新規募集

2 期生（4 年生 定員 24 名） 平成 25 年度からの継続者

1 期生（5 年生 定員 24 名） 平成 24 年度からの継続者

時 期 平成 26 年 4 月から平成 27 年 3 月（計 15 回程度、各回 150 分）

交 付 先 浜松 I T キッズプロジェクト推進会議

実 績 平成 25 年度応募者数 290 名

#### イ 基礎学習プログラム開発経費 500 千円（委託料）

専門分野の才能を支える語学力や発信力などを磨くための基礎学習プログラム開発について専門家への委託。

平成 27 年度から開発したプログラムを付加し、(1) の I T 分野と (2) の理科ものづくり分野をあわせ再編する予定。

### (2) 理科・ものづくり教育支援事業 6,000 千円（負担金）

#### 「浜松ダ・ヴィンチ・キッズプロジェクト」

講座内容 ランプシェード作り、ホバークラフト製作など（H24 実績）

交 付 先 国立大学法人静岡大学

実 績 平成 24 年度応募者数 14 名

# まちなかアート整備事業

企画調整部企画課

## 1 目的

一定のテーマ性を持ったアート空間をまちなかに創り出すことで市民の創造性を喚起し、創造都市のまちづくりの土台とするとともに、まちなかの魅力創出を図る。

## 2 事業内容

事業概要 アートを取り入れたまちなか空間の整備

事業期間 平成 26 年度から平成 30 年度

## 3 事業費 5,200 千円

委託料 5,200 千円 基本構想及び事業計画作成  
地下道アート整備など

## 4 参考

25 年度「みんなのはままつ創造プロジェクト」採択事業として、専門学校生による駅前地下道のアートペイントを実施。



# 外国人学習支援センター運営事業

企画調整部国際課

## 1 目的

外国人の子どもから大人までの総合的な学習支援の拠点として、外国人学習支援センターを運営し、日本語教室をはじめとする各種講座を実施する。

また、平成 23 年度から「外国人の子どもの不就学ゼロ作戦事業」を実施するとともに、外国人の子どもの不就学を生まない仕組みづくりを進めてきたところであり、この取り組みを「浜松モデル」として関係機関と連携し推進していく。

## 2 背景

市長マニフェストである「外国人児童生徒の不就学解消」の実施

不就学者数の推移：H23. 9. 30 16 人 H24. 3. 12 3 人 H25. 2. 28 2 人 H25. 9. 20 0 人

## 3 事業内容

### (1) 外国人学習支援センター

施設概要 浜松市西区雄踏町宇布見

1 階 外国人学習支援センター

2 階 外国人学校 ムンド・デ・アレグリア

実施内容 外国人日本語学習支援、学習支援ボランティア養成など

### (2) 外国人の子どもの不就学ゼロ作戦事業

体制 ・住民基本台帳システムと連動した学齢簿システムの活用  
・教育委員会や外国人学校など関係機関と連携し、外国人の子どもの  
不就学を生まない「浜松モデル」の推進

取組 ・外国人の子どもの就学状況の継続的な把握  
・就学に向けたきめ細かな支援  
・外国人の子どものためのカウンセラー派遣

## 4 事業費 49,680 千円

施設光熱水費等 5,770 千円

委託料 43,910 千円 日本語教室をはじめとする各種講座の実施に要する経費  
※外国人の子どもの不就学ゼロ作戦事業費を含む

# UCLG ASPAC 執行理事会 浜松開催事業

企画調整部国際課

## 1 目的

都市・自治体連合（UCLG）のアジア太平洋支部（ASPAC）の役員会議である執行理事会並びに自治体の国際戦略をテーマとした国際会議を開催することを通じ、グローバル化に対応した自治体の戦略について考えるとともに、アジア太平洋地域の都市との連携を強化する。

## 2 背景

本事業は互いの知見と経験を共有するとともに、本市の魅力を国内外に発信し、アジア太平洋地域の諸都市との連携強化を図る絶好の機会であり、平成 25 年 11 月にスリランカ・コロンボで開催された執行理事会において、平成 26 年 6 月の浜松開催が承認された。

## 3 事業内容

日 程：平成 26 年 6 月 9 日（月）、10 日（火）、11 日（水）

主 催：浜松市、都市・自治体連合アジア太平洋支部（UCLG ASPAC）

参加者（想定）：10 か国 250 人（UCLG ASPAC 会員都市、国内自治体関係者、市民など）

内 容：UCLG ASPAC 執行理事会

自治体の国際戦略をテーマとした国際会議

（メインテーマ）グローバル時代における自治体の国際戦略

## 4 事業費 7,320 千円（財源 地域国際化施策支援事業助成金 3,000 千円）

委託料 5,320 千円

使用料及び賃借料 900 千円

その他経費 1,100 千円

## 5 参考

### （1）都市・自治体連合（UCLG : United Cities and Local Governments）

活動内容 地方自治体の世界最大の連合組織として、主に会員同士の情報交換や相互協力、各種研修プログラムの実施を通して、地方自治の強化や地方分権の推進、地方自治体の能力向上に向けた取り組み等を実施

支部構成 世界 7 地域

会員数 1,000 以上の都市と 112 の地方自治体の全国組織が加盟

※国内の加盟自治体は浜松市と静岡市

### （2）アジア太平洋支部（ASPAC）

構成地域 東・北東アジア、南・南西アジア、南東アジア、オセアニア



# 社会保障等制度改正対応事業

企画調整部情報政策課

## 1 目的

複数の機関に存在する個人情報に対し、同一人の情報（＝マイナンバー）として紐付け、相互活用する社会基盤を整備することにより、社会保障・税制度の効率性及び透明性を高め、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現する。

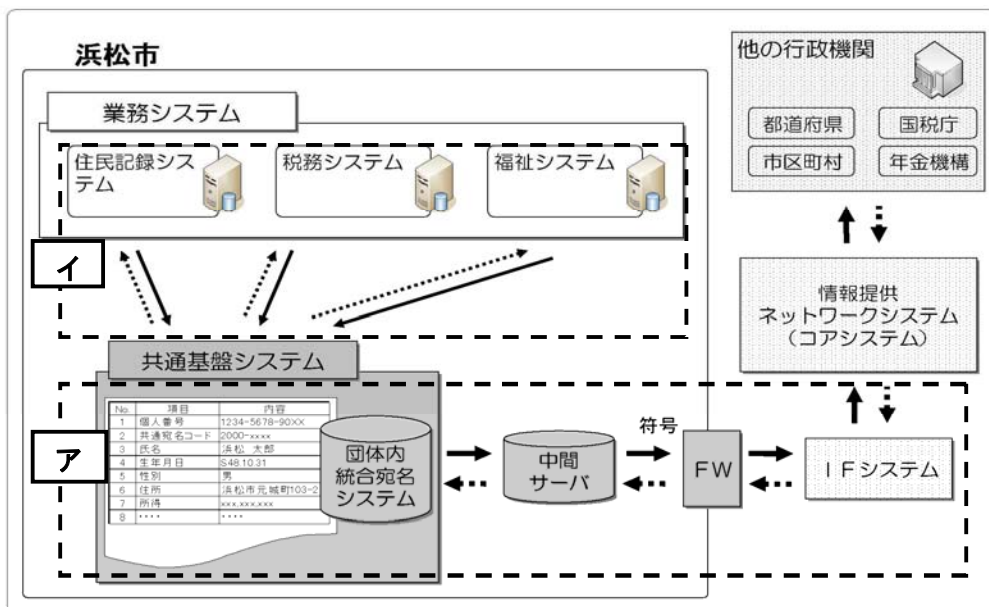
## 2 事業内容

### (1) 情報システムの番号制度への対応

#### ア 国の機関や他の自治体との連携

共通基盤システムと中間サーバ、FW（ファイアウォール）、IF（インターフェース）システムの導入

#### イ 庁内情報システムの対応



### (2) スケジュール

- 平成 25 年 5 月 番号制度に関連する法律が成立
- 平成 27 年 10 月 各世帯へ番号通知
- 平成 27 年 12 月 共通基盤システム完成
- 平成 28 年 1 月 個人番号カード交付・利用開始
- 平成 29 年 7 月 国と地方自治体で情報連携開始

## 3 事業費 414,104千円

- 役務費 10,800千円
- 委託料 392,504千円
- 工事費 10,800千円

共通基盤システムの開発及び運用事業費

債務負担行為限度額 1,479,361千円（平成26年度～平成32年度）

# 施設解体事業

財務部資産経営課

## 1 目的

保有財産の総量縮減のため、次の観点から施設解体を進める。

- ①土地の売却性が高い施設
- ②借地上に設置されている施設
- ③その他（大規模施設や老朽化など解体の緊急性が高いもの）

## 2 事業内容

南消防署可美出張所、雄踏保健センターの解体など

## 3 事業費 300,000 千円（資産運用・企画事業 388,897 千円の一部） （財源 繰入金 300,000 千円）

委託料	17,000 千円	解体設計
工事費	283,000 千円	解体工事

解体にあたり、有害物質調査や土壌汚染調査など専門知識が必要な清掃施設などの解体経費は別途計上

- ・ 26 年度事業費 231,316 千円
  - 委託料 14,699 千円 解体設計
  - 工事費 216,617 千円 解体工事

三ヶ日ごみ処理センター、旧龍山生ごみ焼却場の解体など

解体事業費合計 531,316 千円

# 市民協働推進事業

市民部市民協働・地域政策課

## 1 目的

市民、市民活動団体、事業者及び市が対等なパートナーシップのもと、地域の課題解決を図りつつ、市民主体のまちづくりを進める。

## 2 背景

- ・平成 15 年 4 月市民協働推進条例を制定し、市民協働を推進
- ・平成 22 年度から市民協働を推進する体制を充実するため、市民協働センターを設置

## 3 事業内容・事業費

### (1) 人材育成の環境整備

#### ア 浜松地域人づくり大学事業

- ・市民活動体験講座（中高生対象） 200 千円  
市民活動への参加を通して市民活動に対する理解を深める。
- ・(新規) チェンジメーカー養成講座（大学生等の若者対象） 1,000 千円  
第一線で活躍する市民活動のリーダーを講師に迎え講義や実践的ワークショップ等を開催する。

#### イ NPOスキルアップ講座開催助成事業 300 千円

行政によるNPO支援からNPOがNPOを支援する体制への転換を目指し、市主催からNPO主催の講座開催経費の一部を助成する制度に変更。  
補助率 1 / 2 上限 100 千円（※いずれか少ない額を交付）

### (2) 情報提供及び情報交換の推進

#### ア 出前講座 309 千円

#### イ (新規) 学ボラネット（学生ボランティアネットワーク）構築事業 300 千円

ネットワーク会議の開催 6 回程度

市内大学で市民活動を実践している学生がお互いに活動状況や課題を共有し、連携できる体制を構築する。

### (3) はままつ夢基金事業費補助金 3,000 千円（財源 繰入金 3,000 千円）

- ・団体支援補助事業から交付を希望する団体は、あらかじめ基金へ登録（登録審査：年 4 回程度）
- ・寄附者は団体指定で寄附することも可
  - ①団体支援補助事業 補助率なし
  - ②スタートアップサポート事業 補助率 1 / 2 上限 50 千円

### (4) その他事務経費 1,022 千円

# 二俣協働センター・天竜図書館改修事業

市民部市民協働・地域政策課

## 1 目的

老朽化している空調設備の改修工事、エレベーターの設置工事およびユニバーサルデザイン化工事を行い、施設の長寿命化とユニバーサルデザイン化による利用者の利便性向上を図る。

## 2 背景

昭和 55 年の建設から 33 年が経過し、空調設備の老朽化が進んでいる。また、施設利用者からはエレベーターの設置および施設のユニバーサルデザイン化を要望されている。

## 3 事業内容

施設規模 RC造2階建 延床面積 2,234.8 m<sup>2</sup>

総事業費 176,603 千円

事業期間 平成 25 年 5 月から平成 27 年 3 月

## 4 事業費 170,069 千円（財源 国 6,000 千円 市債 157,000 千円）

エレベーター設置、空調改修及びユニバーサルデザイン化工事

・ 建築工事	47,000 千円
・ 電気設備工事	30,000 千円
・ 機械設備工事	88,600 千円
・ 工事監理委託	4,400 千円
・ 手数料	69 千円



## 5 事業計画

平成 25 年 7 月～ 実施設計

平成 26 年 6 月～ 改修工事

休館期間(予定) : 平成 26 年 9 月～平成 27 年 1 月

施設供用開始(予定) : 平成 27 年 2 月

# 地区コミュニティ振興モデル事業

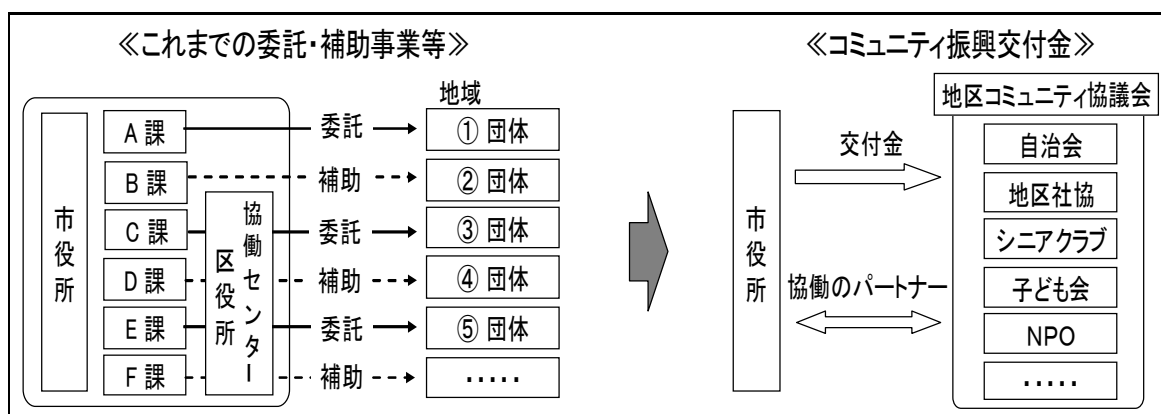
市民部市民協働・地域政策課

## 1 目的

自治会をはじめとした各種団体や住民による、地域主体の創意溢れる地域づくりを促進し、地域コミュニティの一層の活性化を図る。

## 2 事業内容

- ・自治会をはじめ各種団体や住民が「地区コミュニティ協議会」を立上げ。
- ・実施する様々な地域活動に対し、地域の創意工夫、責任と判断のもとで、弾力的に使い道を決定できる「コミュニティ振興交付金」を交付する制度を、平成26年度からモデル地区へ導入し、制度の検証を委託する。
- ・交付金は、市各課から個別に支出している補助金等を統合し交付する。



- ・交付金化した事業のほか、地域の合意に基づき、地域コミュニティの振興に資する事業の実施も可能。
- ・地区コミュニティ協議会を設立し、モデル事業に協力いただける地区で実施。

## 3 事業費 16,104 千円

委託料 2,000 千円 2 地区×1,000 千円

地区コミュニティ振興モデル事業検証業務委託

負担金補助及び交付金 14,104 千円 行政連絡業務委託、成人式開催業務委託、敬老会開催費補助金を統合。

各地区の世帯数、対象者数に応じて交付金算出。

# 交流・居住促進事業

市民部市民協働・地域政策課

## 1 目的

人口の減少や地域活力の低下が進行する中山間地域の活性化を図るため、地域外住民との交流及び都市部住民の中山間地域定住を促進する。

## 2 事業内容

### (1) 交流を促進する事業

- ア (新規) まち・むらりレーション事業 4,093 千円
  - ・ 都市部と中山間地域のコラボレーションによる交流イベントやワークショップの実施
  - 場 所(予定): 浜松ギャラリーモール「キタラ」及び「ソラモ」
  - 開催時期(予定): 10月の週末2日間
  - ・ 電車中吊り広告や新聞広告による中山間地域のPR
- イ 中山間地域交流ネットワーク事業 800 千円
  - ・ 中山間地域の集落等と都市部ボランティア希望者との交流による地域活性化促進
- ウ 学校をはじめとした各種団体間交流
  - ・ 遠足や野外活動等の校外学習で中山間地域を積極的に活用

### (2) 移住を促進する事業

- ア 浜松田舎暮らしプロモーション事業 1,683 千円
  - ・ 田舎暮らし相談会の実施及び田舎暮らしウェブサイトの管理運営
- イ 田舎暮らしお試し住宅事業 752 千円 (H25 入居状況: 3 世帯 7 人)
  - ・ 移住希望者が本格移住の前に短期間居住する住宅の維持管理経費
- ウ 移住促進空き家活用事業 2,100 千円 (H25 補助見込: 4 件)
  - ・ 空き家に入居を希望する移住者及び空き家所有者に対し、住宅の改修等に必要経費の一部を助成

## 3 事業費 19,226 千円 (財源 繰入金 5,200 千円)

役務費	1,327 千円
委託料	1,513 千円
負担金補助及び交付金	14,601 千円
その他経費	1,785 千円

# 中山間地域生活支援事業

市民部市民協働・地域政策課

## 1 目的

人口の減少や高齢化の進行に伴い、生活扶助機能や集落活力が低下する中山間地域の集落機能の維持・活性化を図るための事業を行い、地域住民の自立を促進する。

## 2 事業内容

### (1) 人材を投入し、地域活力の向上を図る事業

- ・ 浜松山里いきいき応援隊 15,498 千円 (H25 6名 15,932 千円)

都市部の若者を中山間地域活性化の新たな担い手として活用

地域行事への参加、協力及び農林作業等の補助作業など

(活動期間) 更新制により最長3年

(活動地域及び隊員数) 引佐、天竜、春野、佐久間、水窪、龍山 各1名 計6名

(活動の成果) 地域活動の担い手の確保と新たなリーダーの育成、地域情報の発信

※H25年度内訳 山里いきいき応援隊4名、緑のふるさと協力隊2名

### (2) 地域組織の再構築を促す事業

- ・ NPO活動支援事業 100 千円

講演会及び相談会の開催によるNPO法人等の設立及び活動支援

### (3) 地域住民の生活環境改善を図る事業

- ・ 原材料支給事業 6,000 千円

地域住民の集落道及び水源管理道の修繕等に対し、生コンなど原材料を支給し、市民協働により舗装等を実施

- ・ 乗用モノレール等整備事業(補助金) 2,800 千円

自宅から公道までを結ぶ乗用モノレール等の整備に要する経費の一部を補助

### (4) (臨時) 中山間地域振興計画策定事業 750 千円

H27年度からの第二次中山間地域振興計画を策定するにあたり、中山間地域住民及び都市部住民に対しアンケートを実施した上で新たな計画を策定・周知する。

## 3 事業費 25,148 千円

報償費	13,420 千円
原材料費	6,000 千円
負担金補助及び交付金	2,870 千円
その他経費	2,858 千円

# 中山間地域まちづくり事業

市民部市民協働・地域政策課

## 1 目的

中山間地域に生活する市民が自ら発案し行動することによって、地域の活性化に寄与できるように、地域密着型 NPO 法人の活動に交付金を交付するもの。

## 2 背景

中山間地域特有の地域課題を解決するため、中山間地域の住民による自主的・主体的なまちづくり活動を推進する必要がある。

## 3 事業内容

○交付対象事業

提案者：地域密着型 NPO 法人

対象事業期間：3 年以上 8 年以内

事業費：上限なし、審査会で事業内容等が適正であるかを判断

交付率：原則 10 / 10（一部交付も可能）

対象事業

- ・ 浜松市中山間地域振興計画の対象地域内で実施する、同計画の重点方針・施策に合致する公益性の高い事業
- ・ 原則ソフト事業（イベント系のソフト事業、調査・研究のみは対象外）

## 4 事業費 200,107 千円（財源 地域振興等基金繰入金 200,000 千円）

負担金補助及び交付金 200,000 千円

その他経費 107 千円

地域振興等基金 40 億円のうち中山間地域まちづくり事業の充当枠：6 億円

事業提案期間：平成 24 年度から平成 28 年度 ※実施期間は平成 33 年度まで  
（ただし、交付総額が充当枠の 6 億円に達した時点で終了）

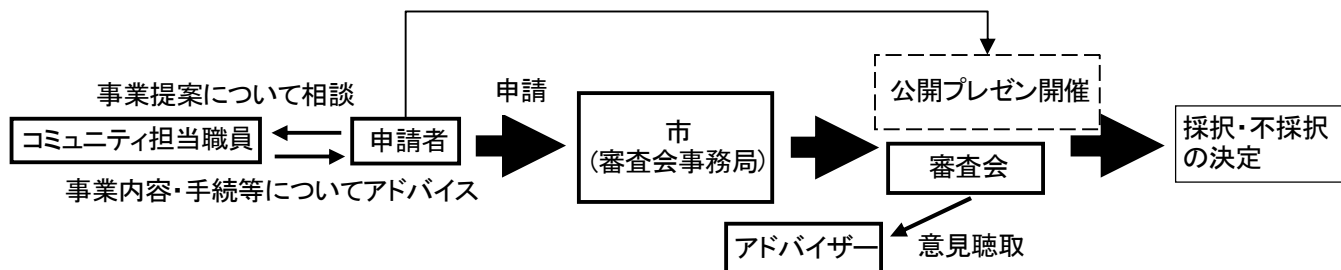
※ 地域振興等基金 40 億円のうち残り 34 億円は、地域住民の連携強化又は地域振興のための事業へ充当する。



## 5 まちづくり事業制度概要

目的	中山間地域で生活する市民が、自ら発案し行動することにより、住民と行政が協働してまちづくりを進め、地域の活性化を図ること。
概要	中山間地域のNPO法人(地域密着型NPO法人)から、地域課題解決のための事業提案を受け、事業として認められたものについて、市が資金提供を行う。交付率10/10
交付金総額	6億円
事業期間	平成24年度から平成33年度まで。申請受付は平成28年度まで行う。ただし、交付金総額に達した場合は、その時点で終了。

## 6 採択・不採択決定までの流れ



## 7 採択事業と進捗状況(H25年11月末時点)

(単位: 千円)

採択年度	申請団体名	事業名・事業期間	総事業費	交付金額	進捗状況
H24	NPO法人 まちづくりネットワーク WILL	WEB版道の駅による 天竜区観光産業 活性化事業 H24.10.1~H29.3.31 (5ヶ年度)	22,875	20,187	①SNS活用講習会4回開催(講師:ツイッタージャパン社員、経営コンサルタント等) ※SNSを利用した情報発信のための講習会 ②Facebookページ立ち上げ(情報発信基地の設立) ③モニターツアー1回開催 10名参加 ④ライブカメラによるwebでの定点情報発信開始 ⑤通販サイト立ち上げ(2社出展中) ⑥個人商店の商品ロゴデザイン制作業務を受託
H24	NPO法人 まちづくりネットワーク WILL	中山間地自立高齢者 支援事業 H25.4.1~H32.3.31 (7ヶ年度)	91,940	52,200	①商品加工場所の選定 ②訪問サービスについて、作業内容に関する要望(ニーズ)聞き取り調査完了
H24	NPO法人 山に生きる会	みさくぼの自然と文化を 活かしたまちづくり事業 H25.4.1~H31.3.31 (6ヶ年度)	12,781	10,468	①みさくぼ100山の調査・安全道標設置作業実施 ②みさくぼ100山案内 ハイキング開催 ③山ビル撃退作業実施 ④ホームページ作成完了
H25	NPO法人 元気里山	元気シニアによる地域 資産継承・活用事業 H25.10.1~H30.3.31 (5ヶ年度)	85,068	31,630	①遊休農地の農地化作業 人員確保と対象農地の選定作業中 ②阿多古和紙教室開催(伝統芸能継承)
H25	NPO法人 がんばらまいか 佐久間	遊休農地を活用した そばの里づくり事業 H25.10.1~H34.3.31 (9ヶ年度)	7,920	6,236	①遊休農地の農地化のための防獣害資材購入・設置作業 ②耕作可能な遊休農地の調査実施中
H25	NPO法人 ひずるしい鎮玉	田舎ゆったりプロジェクト H25.10.1~H34.3.31 (9ヶ年度)	68,818	43,989	①Facebookページ立ち上げ 情報を発信中 ②川事業 ビオトープ設置予定地草刈実施、 ③農事業 遊休農地の調査 田畑オーナー制度準備 ④里事業 菜の花の種まき実施中
計			289,402	164,710	

# 再生可能エネルギー等導入推進基金事業

新エネルギー推進事業本部

## 1 目的

新エネルギー等活用推進基金へ積み立てた環境省補助金を財源として、防災拠点に再生可能エネルギー等を導入し、「災害に強く、低炭素な地域づくり」を推進する。

## 2 背景

市民の生命と生活を守る再生可能エネルギーを活用した防災・減災モデル都市を目指し、環境省の「再生可能エネルギー等導入推進基金事業」における実施地域として採択（平成 25 年 6 月）

事業期間：平成 25 年度～27 年度（基金に積立 3 ヶ年で実施）

積立金：400,000 千円

## 3 事業内容

### （1）公共施設再生可能エネルギー等導入事業 376,800 千円

太陽光発電システム及び蓄電池設置工事（市内小中学校 9 校程度）

工事設計及び監理委託 19,736 千円

設置工事 321,325 千円

蓄電池付ソーラーLED 避難誘導灯の設置（30 箇所程度）

工事設計委託 1,100 千円

設置工事 34,639 千円

### （2）民間施設再生可能エネルギー等導入支援事業 20,000 千円

災害時における最低限の電力や給湯を確保するため、太陽光発電システムと蓄電池や太陽熱利用システムを設置する民間事業者に対し補助金を交付する。

補助金額 10,000 千円（対象経費の 1/3 以内）

交付件数 2 件

### （3）地域資源活用詳細調査事業（外部専門家謝礼、旅費等） 85 千円

外部専門家等により、再生可能エネルギー等導入推進基金事業の進捗管理を行う。

## 4 事業費 396,885 千円（財源 繰入金 396,885 千円）

委託料 20,836 千円

工事請負費 355,964 千円

負担金補助及び交付金 20,000 千円

その他経費 85 千円

# 新エネルギー推進事業

## 新エネルギー推進事業本部

### 1 目的

浜松市エネルギービジョンで掲げた将来ビジョン「スマートシティ・浜松」の構築に向け、太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーの導入を一層拡大するとともに、スマートコミュニティ構築に向けた基盤づくりを推進する。

### 2 事業内容・事業費

(1) 再生可能エネルギー等導入 139,540 千円

ア 浜松市ソーラーセンター運営事業 3,000 千円

イ 新エネルギー導入支援事業 3,000 千円

対象：民間事業者による再生可能エネルギー導入可能性調査

補助額：1,000 千円×3 件（対象経費の1/3以内）

ウ 創エネ・省エネ・蓄エネ型住宅推進事業 129,800 千円

・太陽光発電システムの設備設置費が下がっていることから補助額の減

・次世代型住宅（スマートハウス）設置促進のため、ライフスタイルに合わせた設備の導入支援

補助対象項	H25補助額	件数		H26補助額	件数
太陽光発電システム	50,000円	2,500件	➔	45,000円	2,500件
太陽熱利用システム	20,000円	200件		廃止	
新 燃料電池コージェネレーションシステム	-			140,000円	70件
新 ガスエンジンコージェネレーションシステム	-			50,000円	30件
新 蓄電池	-			100,000円	50件
新 高性能HEMS	-			10,000円	100件

※太陽光発電システム補助件数 H23：2,072 件 H24：2,262 件

エ 太陽光発電導入促進事業 1,000 千円

オ 環境教育太陽光発電モニター設置事業 2,740 千円（財源 繰入金 2,740 千円）

(2) エネルギーマネジメントシステム導入 3,403 千円

ア 次世代エネルギーマネジメントシステム導入支援事業 2,000 千円

対象：民間事業者が行うエネルギーマネジメントシステム導入に係る導入可能性調査

補助額：1,000 千円×2 件（対象経費の1/3以内）

イ（新規）スマートシティシンポジウム開催事業 1,403 千円

(3) エネルギー関連人材の育成事業 1,500 千円

・（新規）エネルギービジネス講座開催事業 1,500 千円（財源 繰入金 1,500 千円）

(4) その他事務費 2,845 千円 有識者謝礼及び旅費など

# 音楽文化都市交流事業

市民部文化政策課

## 1 目的

互いの音楽文化を尊重しつつ、音楽事業者人材の交流をすすめ、国内外への情報発信の連携等を通じて音楽文化を振興するため、音楽文化都市交流を行うもの

## 2 背景

- ・平成 21 年度に札幌市と音楽文化都市交流宣言を行った
- ・「音楽創造都市・浜松」の実現のため、ユネスコ創造都市ネットワークの音楽分野での加盟を目指す

## 3 事業内容

### (1) 札幌市との音楽文化都市交流

- ・札幌市より音楽団体が来浜し、イベント出演 (H26. 10 月頃予定)
- ・浜松市から音楽団体を札幌市へ派遣し、イベント出演 (H26. 11 月頃予定)

### (2) (新規) ボローニャ市との音楽文化都市交流の推進

- ・ボローニャ市との音楽文化都市交流を行うための事前調整

## 4 事業費 7,100 千円

負担金 3,500 千円

旅費 3,157 千円

その他 443 千円 (通訳委託料など)

### 【参考】音楽文化発信・交流事業 96,671 千円

浜松国際ピアノコンクール事業 (負担金)	12,900 千円
浜松吹奏楽大会開催事業 (負担金)	14,500 千円
浜松世界青少年音楽祭開催事業 (負担金)	42,700 千円
静岡国際オペラコンクール共催事業 (負担金)	15,000 千円
音楽文化顧問事業	1,000 千円
さくま国際交流コンサート等開催事業	3,471 千円
音楽文化都市交流事業	7,100 千円

# (仮称) 浜北スポーツセンター整備事業

市民部スポーツ振興課

## 1 目的

地域住民がスポーツを通じた健康づくりやコミュニケーションの場として活用できる身近な体育施設を確保するため

## 2 背景

現施設は老朽化、耐震性の低さ等により廃止の予定であったが、方針決定時より現施設及び代替予定施設の利用率が増加し、さらなる代替施設の確保が困難であること等の状況を考慮し新施設を確保するもの

## 3 事業内容

### (1) 施設概要

- ・場所 浜松市浜北区地内
- ・構造 鉄筋コンクリート2階建
- ・規模 延床面積 約1,300 m<sup>2</sup> (事務室、競技場、会議室等)  
競技場面積 バスケットボールコート2面程度

#### 【参考】現浜北体育館

- ・構造 鉄筋コンクリート造 (地上2階、地下1階)
- ・延床面積 2,578.62 m<sup>2</sup> (事務室、競技場、観客席、ステージ等)
- ・競技場面積 960.3 m<sup>2</sup>

### (2) スケジュール

- H26 設計及び解体設計
- H27～ 解体、建築工事

## 4 事業費 31,560千円 (身近なスポーツ施設事業 (スポーツ施設整備事業) 83,575千円の一部) (財源 市債 29,900千円)

- 委託料 31,255千円
- 事務費 305千円 (手数料)

# 北部地域図書館建設事業

市民部中央図書館

## 1 目的

市内の図書館整備状況の中で、図書館サービスが手薄な北部地域へ図書館を整備するもの  
([都田](#)・[新都田](#)・三方原地区)

## 2 事業内容

### (1) 施設概要

- ・建設地 浜松市北区都田町地内（都田南小学校東側）
- ・敷地面積 約 4,100 m<sup>2</sup>
- ・延床面積 約 1,100 m<sup>2</sup>
- ・収蔵能力 約 7 万冊

### 【位置図】



### (2) スケジュール

- |          |                      |
|----------|----------------------|
| 平成 25 年度 | 基本設計、実施設計            |
| 平成 26 年度 | 実施設計、工事着手            |
| 平成 27 年度 | 工事（平成 28 年 3 月頃開館予定） |

## 3 事業費 24,887 千円（財源 市債 23,600 千円）

委託料 24,317 千円

事務費 570 千円（手数料）

### ・債務負担行為設定

設定期間 H26～H27（2 年間）

限度額 465,000 千円（H26 0 千円、H27 465,000 千円）

事業内容 工事監理委託、建築・電気設備・機械設備工事